

平成19年度事業計画

財団法人豊田市国際交流協会（TOYOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION：T I A）は、1988年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本の柱とし、地域の国際化を推進してきました。

昨年度はボランティア活動の活性化に向け、登録制度の見直しや意思疎通のための取組みを進めました。また重点事業として、外国人災害サポートボランティアの養成、サッカー大会、ミニ外国語講座などの諸事業を展開してきました。全体としては所期の成果が得られたものと考えますが、ボランティア活動の活性化など今後とも継続的な取組みが必要なものも残しております。

今年6月にT I Aが豊田産業文化センター3階に移転し、同所に「とよたグローバルスクエア」を設置します。本年度は新たに開設される「グローバルスクエア」を活用し、来訪・在住外国人と日本人住民がともに語り、学び、交流を深めるための仕組みを整備するとともに、産業、観光、イベント、教育、生活など様々な情報提供を充実させます。また、子ども達に対する新たな取組みも始めます。本年度はこれらの活動を通し、ボランティアとともに地域の国際化をさらに進める年としてまいります。

1 交流事業

(1) 国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深める。

ア アメリカ・ウエイン州立大学（デトロイト）

受入時期 平成19年7月

イ 韓国明知大学（韓国）

受入時期 平成19年7月

ウ ピープル・トゥ・ピープル・アンバサダー・プログラムス（米国）

受入時期 平成19年8月

エ 桜花学園大学留学生（韓国籍）

受入時期 平成19年11月

オ その他、随時検討の上、受け入れる。

(2) おいでんまつり参加

「豊田おいでんまつり」に踊り連「トヨタリアン」を結成して参加する。まつりの体験と相互交流を深めるとともに、おいでんまつりの国際化に寄与する。

開催日 平成19年7月

会場 豊田市中心市街地一帯

参加者 外国人・日本人100名

(3) 姉妹都市デトロイト市交換学生受入事業（新規）

昭和40年に始まった豊田市と姉妹都市デトロイト市との交換学生受入事業の学生を受け入れ、両市の友好を深め、豊田市とデトロイト市の国際交流の発展に貢献する。

受入時期 平成19年7月

(4) International Educators to Japan (IEJ) プログラム

海外進出日系企業の駐在員子弟を受け入れている現地公立学校の教師を日本に招待する。デトロイトからの教師を豊田市で受け入れ、ホームステイ、市内の学校訪問を実施する。

受入時期 平成19年6月28日(木)～7月1日(日)

受入人数 10名

(5) World Campus International (WCI) 受入事業(新規)

前身であるアップウィズピーブルの精神を引き継ぎ、参加者はホームステイ、地域活動などを通じて国際感覚、ボランティア精神、リーダーシップ能力を養う。参加者と市民との国際交流を図る。

受入時期 平成19年9月18日(火)～9月24日(月)

(6) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体と共に開催し、交流事業の多様化を図る。随時、内容検討のうえ実施する。

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳や国際交流・支援など多文化共生を実践していく人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開する。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上と、ボランティア同士の連携を深めるための事業を開催する。

ア ボランティアの登録・紹介の実施

個人、又はグループボランティアとして年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する方には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図る。

・個人ボランティア 通訳・翻訳
交流企画・推進ボランティア
業務サポート(図書整理など)
ホームステイ・ホームビジット

・グループボランティア

交流・支援活動

日本文化紹介

外国人医療支援グループ

ほづみ会

オープンハート

留学生を支援する会(平成19年度休会)

教育・学習活動

Alpha日本語教室

海外生活体験者グループ

日本語サロン

イ ボランティア代表者会議の開催

ボランティア活動の活性化と各グループ共通の課題共有と解決に向けて開催。同時に次期人材の育成のため中堅層の参加を求め、T I Aの諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すと共に、新規で登録する人々が定着するような活動環境の整備に努める。

開催頻度 年5回程度
 会 場 豊田市国際交流協会
 参加者 各グループ代表者及び中堅層

ウ 日本語支援ボランティア養成講座

在住外国人対象の日本語支援ボランティア養成講座

市内在住外国人の現状や日本語学習の進め方を実践的に学ぶことで、実際に教室で活動できる人材を養成し、市内の日本語支援ボランティア全体の強化を図る。

開催時期 平成19年9月～11月

会 場 豊田市国際交流協会

参加者 日本語支援活動に興味があり、講座終了後はボランティア活動のできる方
 外国人労働者対象の日本語支援ボランティア養成講座と企業派遣（新規）

既存の日本語学習ボランティアのスキルアップを図り、企業からの依頼に応じて外国人労働者の日本語学習を支援していく。

開催時期 平成20年1～3月

会 場 豊田市国際交流協会

参加者 日本語支援学習ボランティア経験者または日本語支援ボランティア養成講座修了者で、講座終了後は企業からの依頼に応じてボランティア活動のできる方

エ T I Aボランティアオリエンテーション（新規）

「はじめてみよう、地域国際ボランティア（仮称）」

事務所の移転に伴い、新しくボランティアを始めたという市民を対象にT I Aボランティア説明会を開催し、個人及びグループへの登録ボランティア数の増加につなげる。

開催時期 平成19年度春期・秋期

会 場 豊田市国際交流協会

参加者 豊田市の国際化に関心があり、かつT I Aのボランティア活動に積極的に参加を希望する市民

（2）外国人多言語相談事業

市を始め各種団体と連携しながら、在住外国人が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりのための基盤づくりを推進する。相談員の雇用条件の改善を図り、質の高い人

材の安定した確保を目指す。施設移転による開館時間の延長に伴い、夜間の外国語相談窓口対応もニーズを見ながら検討する。

(3) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に、通訳者を派遣する。19年度は新たな取組みとして、科学体験館で行なわれているサイエンスショーや科学工作教室に外国籍の子どもが参加できるよう、通訳のサポートも行う。

通訳は人材バンクのデータベースを作成し、効率的かつ多様な人材を派遣できるようなシステムの整備に着手する。言語は特に近年増加している中国、ベトナムなどアジア圏の言語の充実を図っていく。

(4) 翻訳事業

市役所などの公的機関に提出する文書など公的書類に限り、翻訳者を確保する。通訳と同様、人材バンクのデータベースによる効率的な運用に努める。

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組みが行われている国際理解教育プログラムについて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行い、国際理解教育を推進する。また、依頼に応じ市職員や一般市民対象の国際理解教育講座を企画・開催する。

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内在住外国人が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施する。

期 間	ミニ講座：平成19年4月～5月 毎週土曜日 全7回 前 期：平成19年6月～10月 毎週土曜日 全20回 後 期：平成19年11月～翌年3月 毎週土曜日 全20回
時 間	9時30分～12時
ク ラ ス	入門・にほんご1・にほんご2・にほんご3
会 場	豊田市国際交流協会
参 加 者	各クラス15名

(2) 夜間日本語講座（新規）

日常生活や職場におけるコミュニケーションが最低限図れるよう、在住外国人労働者を対象に、仕事が終了した後受講できる夜間の日本語講座を新設する。

期 間	平成19年6月～ 3か月1タームで全10回程度（予定）
時 間	19時～20時30分
ク ラ ス	初年度は試行的に入門レベルのみ2クラス程度

会 場 豊田市国際交流協会
参加者 2クラス15名程度

(3) 国際理解教育セミナー

人権・平和・多文化・環境といった地球規模のさまざまな問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動を起こすことができる地球市民を育成することを狙いとした啓発事業を、参加・体験型のセミナー形式で行う。

また、19年度は子どもの参加を意識したプログラムづくりに取り組む。特に長期休暇中などにナショナルデー事業とあわせて、効果的で楽しい国際理解教育に触れる機会を作る。

開催頻度 年3回程度
会 場 豊田市国際交流協会ほか
参加者 子ども、一般市民、教育関係者

(4) 外国語講座

ア 韓国・朝鮮語講座

文化・スポーツを通じ依然として注目度の高い隣国・韓国。本講座では入門レベルの韓国語を学ぶ目的で市民対象に開催する。移転に伴う開館時間の延長に伴い、従来の昼間講座の他に夜間の講座を実施する。

開 催 前期：平成19年9月～10月
後期：平成20年1月～3月
夜間：平成19年7月～9月
会 場 豊田市国際交流協会
参加者 韓国・朝鮮語に関心のある在住・在勤の市民

イ 中国語講座

市内外国人登録人数が第2位となった中国への文化理解を図るとともに、日本人と中国人の友好親善のきっかけづくりの場とする。移転に伴う開館時間の延長に伴い、従来の年2回の昼間講座の他に夜間の講座を1回試行的に実施する。

開 催 前期：平成19年10月～12月
後期：平成20年1月～3月
夜間：平成19年6月～9月
会 場 豊田市国際交流協会
参加者 中国語学習に関心のある在住・在勤の市民

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルのスペイン語と文化の講座を開催することで市民に対するラテンアメリカ諸国への理解を進める。

開 催 昼間：平成20年1月～3月
夜間：平成19年10月～12月

会 場 豊田市国際交流協会
参 加 者 スペイン語学習に関心のある在住・在勤の市民

エ 夜間外国語講座（新規）

仕事帰りの社会人や学生を対象に、夜間に受講できる前記以外の外国語講座を実施する。実施言語は市内のニーズや講師の確保に応じて選択し、いずれも3か月ターム全10回程度で開催予定。

開 催 平成19年6月～
会 場 豊田市国際交流協会
参 加 者 在住・在勤の市民

（5）外国人防災体制の確立

ア 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

昨年度立ち上げた本事業について内容をさらに発展させた講座を行い、災害時における通訳・翻訳ボランティアの確保に努める。また登録ボランティアとの連携を視野に入れながら、外国人防災体制の整備に寄与できるような取組みも同時に進めていく。

開 催 平成19年5月～10月
会 場 豊田市国際交流協会
参 加 者 日本語/外国語でコミュニケーションができる在住・在勤の市民

イ 多言語による災害時避難カードの作成（新規）

大きな災害が発生した時の避難行動について、知識と理解を深めてもらうためポケットサイズのカードを作成し、外国人市民へ配布する。カードはサポートボランティアの協力を得て作成する。

開 催 平成19年10月～3月
会 場 豊田市国際交流協会
参 加 者 平成18、19年の養成講座参加者

（6）その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種芸術・文化紹介事業を類似の団体とともに開催し、研修啓発事業の多様化を図る。随時、内容検討のうえ実施。

4 情報収集・提供事業

（1）T I A機関誌発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行する。国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布し、オープンするとよたグローバルスクエアを国際交流の拠点として広く市民へアピールしていく。

発行回数 年4回（5月、7月、10月、1月）

規 格 A 4 サイズ 4 頁
発行部数 3, 0 0 0 部 / 1 回

(2) 国際理解教育ニュースレター発行事業

国際理解教育の手法や教材の紹介、セミナー等で実施したプログラム等を中心に、この分野に関心のある人々に充実した情報を提供する。

発行回数 年 3 ~ 4 回 (随時)
規 格 A 4 サイズ 2 頁
発行部数 2, 0 0 0 部 / 1 回

(3) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報誌に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載する。

発行回数 2 4 回 (毎号掲載)
規 格 A 4 サイズ 1 頁
発行部数 1 5 1, 3 2 7 部 / 1 回

(4) 各種出版事業

本協会主催の各種事業の内容を要約・編集し、報告書として提供する。今年も 18 年度に引き続き、協会ホームページを通じて情報提供を行なう。

(5) T I A ホームページ外国語版作成

以前からニーズの多くあった T I A ホームページの外国語版として、英語、中国語、ポルトガル語の 3 言語作成する。外国籍市民向けの情報を重点的に掲載する。

(6) T I A リーフレット作成

移転に伴い T I A のリーフレットを日本語、英語、中国語、ポルトガル語の 4 言語で作成する。

印刷完成 平成 1 9 年 5 月下旬
規 格 A 4 3 つ折
印刷部数 3, 0 0 0 部ずつ

5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、その後援を始めとして、積極的な支援参加を行う。今年度は、愛・地球博一市町村一国フレンドシップ事業の継続事業として、市民主体の国際交流・国際協力のボランティア活動を活性化させるための方策を検討し、支援をする。

(1) 草の根の国際交流の推進

内 容 とよた国際交流市民会議の開催
期 間 平成 1 9 年 4 月 ~ 平成 2 0 年 3 月の間で随時
場 所 豊田市国際交流協会

(2) 助成金事業

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力を目的とした新規事業への支援を行う。今年度の募集案内は多言語（ポルトガル語、中国語、英語）で行い、外国人グループの活動の発掘、活性化も図る。

内 容 国際交流・国際協力事業募集・審査・助成金交付を行う。

期 間 平成19年4月1日～4月29日 事業募集

平成19年5月 審査

事業実施、助成金交付の期間は平成19年6月1日～平成20年3月31日

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組み

地域の在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、さらには在住外国人がもたらす豊かな個性を活かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討、関係部署と連携に取り組む。

また、国際有識者会議（平成19年度より豊田市にて新たに発足）・外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、多文化共生を内包した国際化の推進に努める。

さらに、市内においては、教育委員会や学校等との連携のもと、外国人児童生徒が国籍や言葉の違いなどで学習に困難を来し、学業を途中で断念しないようボランティアと協力して支援する。

(2) その他の調査・企画事業の取組み

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を実施する。

7 とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流活動の拠点として、国際交流や海外諸国に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応のほか、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場の提供としてとよたグローバルスクエアを運営する。

(1) とよたグローバルスクエアオープニング式典、記念催事（新規）

とよたグローバルスクエアのオープニング式典と愛・地球博一市町村一国フレンドシップ事業を記念するメモリアル・ステージ設置の公開、オープニング記念催事を開催し、関係部署、一般市民へT I Aの新しい拠点を披露する。

ア とよたグローバルスクエアのオープン式典

とよたグローバルスクエアのオープン記念式典にあわせて、フレンドシップ各国の大使館関係者を招待し、愛・地球博メモリアル・ステージ設置披露会（ ）を開催する。

開 催 日 平成19年6月1日（金）

参 加 者 各国国代表、関係者 約200名

愛・地球博メモリアル・ステージ設置

フレンドシップ10か国をはじめとした世界各国の文化・芸術の紹介や、各種講習会を開催するためのステージを設置すると共に、ステージの様子や世界各国の魅力を紹介することができる大型映像装置を設置し、フレンドシップ事業の理念である市民主体の国際交流の継承と発展に寄与する。

イ とよたグローバルスクエア一般公開イベント

開催日 平成19年6月2日(土)、3日(日)

内容 ボランティアグループの活動紹介パネル展、音楽演奏など

参加者 ボランティア、一般市民

(2) T I A ナショナルデー (新規)

とよたグローバルスクエアのオープンに伴い、財団法人あすてと連携しつつ世界各国の文化や生活を紹介、披露する機会を毎週設け、在住外国人や市民にボランティア活動の場を提供し、フレンドシップ事業の理念である市民主体の国際交流の継承と発展に寄与する。

(3) 草の根の交流事業の開催

愛・地球博における一市町村一国フレンドシップ事業において築き上げた各国との友好関係を維持・発展させるため、国際交流事業を開催する。

(4) T I A 図書室の開設 (新規)

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために必要とする図書・雑誌・新聞・資料・ビデオ等を収集・提供する。

(5) インターネットP C、無線L A Nの設置 (新規)

とよたグローバルスクエアに訪れる多くの市内在住外国人や市民のため、インターネットP Cを設置し、また無線L A Nを導入し、情報提供サービスの向上を図る。

(6) 掲示板など情報コーナーの充実 (新規)

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとする。

8 その他 ボランティアグループ活動計画

本年度、以下の活動を計画しており各グループは自立的に活動を推進するが、T I Aは活動環境の整備と必要な個別の支援を実施する。

(1) 国際交流

ア オープンハート

各種ホームステイにおけるコーディネートを行う。

・ウエイン州立大学 7月(予定)

- ・ピープル・トゥー・ピープル・アンバサダー・プログラムス 8月(予定)
- ・姉妹都市デトロイト市交換学生受入 7月(予定)
- ・桜花学園大学留学生(韓国籍) 11月(予定)など

イ 日本文化紹介

在住外国人への日本文化紹介(茶道・書道・華道・着付け・折り紙等): 随時
T I A ボランティアグループの各種活動への協力

(2) 国際協力

ア アジア友の会 閉会

イ ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座の実施。
恒例のタイスタディツアーを実施予定。

(3) 在住外国人と交流・支援

ア 留学生を支援する会

豊田市、及び近隣大学留学生の相談相手(おいでんファミリー)を通じた支援・交流活動。その他、留学生の母国文化を紹介する「留学生ふるさと講座」や「日本文化体験講座」などを実施。(平成19年度は休会)

イ E-I F F

英語サロンの開催

メディカルガイド改訂版の作成(情報収集、編集、印刷等)

証明書類等の翻訳

その他随時通訳・翻訳活動の展開

ウ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語(ポルトガル語・英語)表記も含め、提供する。年3回発行。発行部数は各回1,100部。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布

エ 外国人医療支援グループ

外国人対象の健康促進活動(平成18年度外国人学校健康調査フォロー、平成19年度検診等)と、それに伴う情報発信

オ 日本語サロン

毎週水曜日の日本語教室開催、学習者のための託児ルーム開設。

開講時期: 前期4月~9月 後期10月~3月

カ Alpha日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（もちつき、郊外学習）の実施。

開講時期：5月～8月、9月～12月、1月～4月の計3期

（4）学習・情報提供

海外生活体験者グループ

海外生活サロン（海外の日本人学校の情報を共有する会） 年1回